

## 3年生が柿の摘蕾体験をしました



5月12日（月）、3年生が総合的な学習の時間「ふるさとのじまん」で、柿の摘蕾体験を行いました。宮田の酒井さんの柿畑に行き、酒井さんから摘蕾をする意味や仕方について話を聞きました。「大きな柿をつくるために、いちばん大きな葉の近くの花の蕾を一つ残す」という話を聞いて、一人一人が自分の枝を決めて、摘蕾体験をしました。摘んだ蕾を学校へ持ち帰ってきた子もいました。

柿の木に「西小3年生の木」というプレートをつけたので、近くを通った時に柿の実の成長の様子を観察していきます。